

新潟市立白根北中学校学校だより	◇教育目標◇ 自立 友愛 勇気	
	〒950-1407 新潟市南区鷺ノ木新田 4814 番地 電話：025-362-1150 FAX：025-362-5517	
	令和6年8月26日 特別号	
☆北中 HP の URL http://www.shirokitajhs.city-niigata.ed.jp/index.html ☆北中ブログの URL http://blog.city-niigata.ed.jp/shirokitajhs/shirokita/ ※本校の HP、ブログでは、もっと細かに生徒の活躍の様子を紹介しています。 そちらもご覧ください。	  白根北中 HP の二次元コード 白根北中ブログの二次元コード	

学校評価結果

7月の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。生徒アンケート(生活・学習意識調査)および保護者アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

当校ではどの教育活動においても、以下の3つの視点で学校運営に取り組んできました。

- 1 自己肯定感、自己有用感の醸成
- 2 主体性・自律性・社会性の育成
- 3 安心・安全な環境づくり

この3つの視点から生徒の変容を分析し、この後の教育活動に生かしていきます。

1. 生徒の様子に関するアンケートからの分析（生徒アンケートより肯定的な数値）

質 問 項 目	R6 7月	R5 7月	比較
宿題をきちんとやっています。	85.4%	87.0%	-1.6
宿題以外にも自主的に家で勉強しています。	66.6%	66.5%	0.1
将来の夢やつきたい仕事があります。	68.9%	67.0%	1.9
学習や生活のめあてをもって毎日を過ごしています。	76.2%	74.6%	1.6
学習や生活において自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。	87.5%	86.1%	1.4
自分にはよいところがあります。	76.8%	74.7%	2.1

すべての項目において昨年度との有意差は認められず、同程度の結果となりました。中には上昇傾向にある項目もあり、生徒は自分を見つめて、振り返りの結果を生かそうとする姿勢が見られます。

「宿題」の取り組みは安定して高評価となり、「自主学习」の取り組みはいまだ低いものの、6割を超える生徒が取り組んでいます。家庭学習の習慣はおおむね満足できる結果となりましたが、一方、「平日の家庭学習時間」が平均 58.9 分（昨年 64.6 分）と減少しており、家庭学習を「宿題」に頼ってしまい、基礎学力向上を目指した学習が十分ではないと思われま。

家庭学習では宿題だけでなく、復習や予習、自らの苦手な教科の克服などにより、日々の授業理解に役立てたり、基礎学力の向上を目指したりする必要性を感じます。継続的なワーク点検や小テストの実

施などをもとに、家庭学習の内容の見直しを図るよう指導します。

ご家庭でも、お子さんから学校での授業の様子を聞き、やりとり帳の「宿題・提出物・家庭学習」の欄に目を通すなどして、学校での家庭学習の取組をご理解いただくとともに、宿題の有無の確認や自主学習についての励ましや賞賛をしていただけましたら幸いです。

「将来の夢やつきたい仕事」や「学習や生活のめあてをもって過ごしている」などなりたい自分を踏まえ、学校生活に目標をもって生活する生徒が多くいます。

当校でのキャリア教育として実践している総合的な学習の時間を中心とした体験学習や学校行事等での本物体験の効果が表れたものと考えます。1、2年生の職場体験や3年生の北の塔株式会社など、他の生徒や地域の方とかかわりながら学んでいく経験や、様々な活動における生徒の手による運営を通して、達成感を感じており、活動の振り返りや友だちから賞賛を受けるなどの他とかかわりの中で、自己肯定感も向上してきていると評価しています。教育活動の様々な場面で、自信をもって自分の将来の進路を歩める、夢をもてる生徒の育成を目指していきます。

「自分で考えて課題解決できる」生徒は昨年と同程度の水準を保っています。授業だけでなく、学活や生徒会活動、学校行事の中でも、他と協力しながら自分で考えた学習過程に取り組みより良いものを創り上げていこうという姿勢に満ち溢れています。

「自分には良いところがある」と答えた生徒も多く、自己肯定感の高まりを感じます。学級活動や学校行事において、活躍できる場をつくり、責任をもって取り組ませる。リーダーらしく成長したり、フォロワーとして役に立ったりと、自らの特性を生かした活躍の仕方を学んでいます。

2. 学校の様子に関するアンケートからの分析（生徒アンケートより肯定的な数値）

質問項目	R6 7月	R5 7月	比較
学校生活は楽しい	89.0%	89.5%	-0.5
やっていることを先生や友だちに認められて、うれしいと感じることがよくあります。	88.4%	91.4%	-3.0
友だちと力を合わせて学習したり、活動したりしています。	95.0%	94.0%	1.0

すべての項目において昨年度との有意差は認められず、同程度の結果となりました。友だちと関わりながら取り組む活動の評価では上昇傾向にあり、良好な人間関係を築きながら生き生きと活動している様子が見受けられます。

「学校生活は楽しい」と感じる生徒が多く、「認められてうれしい」と感じている生徒も多いこと、また、積極的に取り組み、達成感を感じている生徒の姿や、その生徒の頑張りを素直に受け止め、賞賛する姿が見られることから、適切な活躍の場とその取り組み、相互に認め合う振り返りやその受け止めがうまくいっていることが分かります。

反面、「学校生活が楽しくない」と否定的な生徒が2.6%いることが分かりました。また、「認められていない」もしくは「認められてもうれしくない」という生徒も1.7%いました。これらの生徒に目をそそぎ、わずかな表情や話し方の変化をとらえ、声掛けを行っていきます。一人一人の特性に合った活躍の場を設定し、物事に対する感じ方や捉え方、また物事に対処するスキルを伝え、少しずつ成功体験を増やし、自信をもたせたいと考えています。

「力を合わせて活動する」ことが高評価であることは、授業の様子だけでなく、学級活動や学校行事での取り組みに表れています。「よいものをつくろう」、「よい学年にしよう」、「行事を成功させよう」という思いを全員が意識して活動しています。

一人一人が役割を全うしようとするだけでなく、周りからの支えがさりげなく行われ、力を合わせるものが自然になっています。また、それによる相乗効果も生徒自身が実感し、「やってよかった」、「成長した」と感じています。これからも、力を合わせるよさを感じ得る機会を大切にしながら教育活動を展開していきたいと思えます。

3. 自分や他とのかかわりに関するアンケートからの分析（生徒アンケートより肯定的な数値）

質問項目	R6 7月	R5 7月	比較
授業で、自分の考えを進んで伝えていきます。	52.0%	49.1%	2.9
ふだんの授業では友だちどうしで話し合う活動を行っている。	92.4%	90.2%	2.2
授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	82.0%	83.4%	-1.4
学校生活（授業、行事、委員会、係、部活動など）において、自分を高める努力をしている。	89.4%	91.8%	-2.4
行事や学級の目標の達成に向けて、自分の役割を自覚し、係や日常の活動に取り組んでいる。	93.7%	94.6%	-0.9

「自分の考えを伝える」生徒は増加傾向にあり、頑張っている様子がうかがえます。「ふだんの授業で自分の考えを発表する機会があります」というアンケートでは 83.5%の生徒は機会があると答えているにもかかわらず、進んで考えを伝える生徒は 52.0%と少ないことが分かりました。

発表が形式的になったり、正しい答えを言わなければならないと身構えて発言を躊躇したりする傾向があるように思います。つぶやきが授業を進めたり、自由な発言から方向性が見つかったりと、自分の考えを伝えるよさを生徒に伝え、積極的に発言できる場を設定していきたいと思います。また、何でも話せる学級風土の耕しとともに、互いの発言を尊重しながらよりよいものに練り上げていく話し合いの経験を多くさせていき、話し合いのよさや気持ちの共有を図っていきたいと考えています。

「友だちどうしで話し合う活動を行う」生徒が多く、話し合うことのよさやその効果を感じています。授業では課題をもとに解決する過程を大切に進めています。「解決のときの話し合い」や「まとめのときの話し合い」、「気持ちを共有するための話し合い」など、様々な場面で話し合いをしています。

生徒自らが進めたり、工夫をしてまとめたり、話し合いのスキルが身に付いた生徒が増えました。生徒自身も自らの考えを補強したり、修正したり、さらに考えを発展させることができる話し合いのよさをとらえており、学び合う実感をもっていることがわかります。

「課題の解決に向け、自ら考え、取り組む」生徒は多くいます。授業や道徳、総合的な学習など、さまざまな場面で課題を見つけ、解決方法を決めて取り組んでいます。

試行錯誤し、時にはうまくいかないこともありながら、自らの手でやってみる姿勢が多くみられます。自分に自信をもち、他に呼び掛けて協力しながら一緒に解決し、新たな課題に挑戦しようとする姿勢を大切に育てていきたいと思っています。

授業や様々な活動では社会とのつながりを意識した考える行動が求められます。できるだけ受け身で取り組むのではなく、自ら課題を見つけて行動する生徒を育てていけるように工夫して教育活動を展開していきます。

「学校生活において自分を高めようとしている」や「目標の達成に向けて活動に取り組んでいる」の評価は高く、活動によって成長したいと考える生徒が多く、全体の向上のために自分の役割に責任をもって取り組もうとする姿勢が多くみられます。

学級目標の作成の際に考えた「こういう学級にしたい」や「こういう自分になりたい」という初心を忘れず、取り組みや行事のたびにどの程度達成したか、そのような成長が見られたかを振り返っています。よかった点や改善すべき点を話し合い、見つかったことに自分がどのように関わってきたかを明らかにすることによって、自己理解が図れたり、所属感を感じたり、ひいては自己肯定感を育てていくことができると考えています。

「予測が困難で変化の激しい未来を、知恵を働かせながら、しなやかにたくましく生きる力」を育てたいと願い、日々の教育活動を展開しています。学校と保護者、地域が未来の子どものために、思いを共有し、互いに力を出し合いながら教養を育てていきたいと考えています。

令和6年度 前期保護者アンケート結果

※ 自由記述は掲載しておりません。貴重なご意見ありがとうございました。教育活動の参考にさせていただきます。

質問内容		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない					
		1	2	3	4	5	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	分からない
1 お子さんは授業の内容や話し合いの様子などをよく家で話している。	全体	13%	39%	35%	12%	1%	13%	39%	35%	12%	1%
	1年	13%	35%	37%	15%	0%	13%	35%	37%	15%	0%
	2年	15%	44%	32%	9%	0%	15%	44%	32%	9%	0%
	3年	10%	40%	37%	10%	3%	10%	40%	37%	10%	3%
2 お子さんは授業を通して、学力が向上したり、積極的に学ぼうとしたりしている。	全体	15%	50%	24%	8%	3%	15%	50%	24%	8%	3%
	1年	22%	43%	20%	13%	2%	22%	43%	20%	13%	2%
	2年	12%	53%	29%	6%	0%	12%	53%	29%	6%	0%
	3年	10%	57%	23%	3%	7%	10%	57%	23%	3%	7%
3 お子さんは授業の復習や日々の自学など家庭学習が定着している。	全体	14%	42%	23%	21%	1%	14%	42%	23%	21%	1%
	1年	11%	43%	20%	24%	2%	11%	43%	20%	24%	2%
	2年	15%	41%	35%	9%	0%	15%	41%	35%	9%	0%
	3年	17%	40%	13%	30%	0%	17%	40%	13%	30%	0%
4 お子さんは単元テストや、定期テストに向けた学習に取り組んでいる。また、テスト後に間違ったところを復習している。	全体	17%	43%	22%	16%	2%	17%	43%	22%	16%	2%
	1年	15%	50%	11%	20%	4%	15%	50%	11%	20%	4%
	2年	21%	35%	29%	15%	0%	21%	35%	29%	15%	0%
	3年	17%	40%	30%	13%	0%	17%	40%	30%	13%	0%
5 お子さんは生徒会活動・学校行事などに主体的に取り組んでいる。(活動の様子を話したり、準備や活動に力を入れたりしている。)	全体	28%	45%	13%	9%	6%	28%	45%	13%	9%	6%
	1年	24%	46%	11%	15%	4%	24%	46%	11%	15%	4%
	2年	24%	50%	18%	3%	6%	24%	50%	18%	3%	6%
	3年	38%	38%	10%	7%	7%	38%	38%	10%	7%	7%
6 お子さんはいじめがなく安心して学校生活をすごしている。	全体	44%	43%	5%	4%	5%	44%	43%	5%	4%	5%
	1年	43%	43%	2%	0%	11%	43%	43%	2%	0%	11%
	2年	38%	44%	9%	9%	0%	38%	44%	9%	9%	0%
	3年	50%	40%	3%	3%	3%	50%	40%	3%	3%	3%
7 学校はトラブルの防止に努めている。(トラブルがあったときやトラブルが起こりそうとき、先生が親身に相談にのったり一緒に考えたりして、解決する方向に向かっている。)	全体	21%	38%	19%	2%	20%	21%	38%	19%	2%	20%
	1年	24%	39%	13%	0%	24%	24%	39%	13%	0%	24%
	2年	15%	35%	35%	6%	9%	15%	35%	35%	6%	9%
	3年	23%	40%	10%	0%	27%	23%	40%	10%	0%	27%
8 学校は食育の推進や保健指導を通し、よりよい生活習慣の育成を保護者や地域と連携して取り組んでいる。	全体	18%	52%	14%	2%	14%	18%	52%	14%	2%	14%
	1年	13%	60%	9%	0%	18%	13%	60%	9%	0%	18%
	2年	15%	59%	21%	3%	3%	15%	59%	21%	3%	3%
	3年	30%	33%	13%	3%	20%	30%	33%	13%	3%	20%
9 体力テストなどを活用して体育の授業や部活動を行っています。お子さんは体力が向上したり、スポーツに興味をもったりしている。	全体	31%	37%	17%	10%	5%	31%	37%	17%	10%	5%
	1年	33%	41%	15%	7%	4%	33%	41%	15%	7%	4%
	2年	35%	29%	21%	9%	6%	35%	29%	21%	9%	6%
	3年	23%	40%	17%	17%	3%	23%	40%	17%	17%	3%
10 お子さんは自信をもって活動したり、他者を思いやったり、気遣ったりするなど豊かな心が育っている。	全体	25%	67%	2%	2%	4%	25%	67%	2%	2%	4%
	1年	28%	67%	0%	2%	2%	28%	67%	0%	2%	2%
	2年	12%	79%	3%	0%	6%	12%	79%	3%	0%	6%
	3年	37%	53%	3%	3%	3%	37%	53%	3%	3%	3%
11 学校は保護者・からの相談に対して誠意をもって適切に対応している。	全体	22%	51%	6%	1%	19%	22%	51%	6%	1%	19%
	1年	26%	46%	7%	0%	22%	26%	46%	7%	0%	22%
	2年	18%	58%	9%	3%	12%	18%	58%	9%	3%	12%
	3年	20%	53%	3%	0%	23%	20%	53%	3%	0%	23%
12 学校は保護者・地域と連携して教育活動を進めている。	全体	20%	51%	13%	1%	15%	20%	51%	13%	1%	15%
	1年	22%	54%	9%	0%	15%	22%	54%	9%	0%	15%
	2年	18%	50%	18%	3%	12%	18%	50%	18%	3%	12%
	3年	20%	47%	13%	0%	20%	20%	47%	13%	0%	20%
13 保護者の皆さんは「ホームページ・ブログ」や「各種たより」などで学校の様子がよくわかる。	全体	19%	49%	22%	0%	10%	19%	49%	22%	0%	10%
	1年	20%	50%	22%	0%	9%	20%	50%	22%	0%	9%
	2年	18%	50%	24%	0%	9%	18%	50%	24%	0%	9%
	3年	20%	47%	20%	0%	13%	20%	47%	20%	0%	13%

学校生活では見ることで見えないご家庭の様子について推察することができます。

「家庭学習の定着（56%）」は昨年47%より向上し、「テスト等に向けた自主的な学習（60%）」は昨年61%と同程度でした。「主体的に取り組んでいる（73%）」や「安心して学校生活をすごしている（87%）」、「豊かな心が育っている（92%）」は高い評価で、学校での様子が家庭に伝わっており、うれしく感じています。

今回のアンケートを受け止め、保護者の皆様が安心して通わせることができる学校を目指して努力を継続していきます。ご家庭でもお子さんとの会話をこれまで以上に増やし、見守ってあげてください。今後ともご協力よろしく申し上げます。